


【2-9】

湾・灘の区分	大阪湾、播磨灘
取組の名称	ため池の池干し(かいぼり)による栄養塩類の供給
事業期間及び事業費	事業期間:淡路地域 2008年度(平成20年度)～継続中 東播磨地域 2010年度(平成22年度)～継続中 事業費:豊かな海創生支援事業等を活用して実施
事業体制	【かいぼりの実施】 漁業者、農業者、大学生、兵庫県水産・環境・土木部局等 【水質調査】 兵庫県
事業の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の減少や高齢化により、定期的なため池の池干し(かいぼり)が行われず管理が不十分なため池が多い。一方で、海域の栄養塩濃度の低下等が原因で養殖ノリの色落ちが近年頻発するようになった。</li> <li>・一般にため池の水の栄養塩濃度が高いことから、一部のため池において、海域への栄養塩供給を目的に、漁業者と農業者が連携してかいぼりを行うようになった。</li> </ul>
事業場所の詳細	明石市、加古川市、淡路市、洲本市及び南あわじ市の海域に繋がるため池
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淡路地域では平成20年度から、東播磨地域では平成22年度から、漁業者と農業者が連携したかいぼりの取組を始めている。</li> <li>・ため池の水を放流し、その後ホースでの放水により底の泥を攪拌し栄養塩供給の効果促進を図っている。併せて、清掃活動等も行い、ため池の維持管理を行っている。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>かいぼり実施状況</p> </div>
モニタリング方法(効果・影響の確認方法)	<p>[調査項目] 水質調査(溶存無機態窒素、リン酸態リン濃度)</p> <p>[調査時期・頻度] かいぼり実施前から実施後(10月頃)</p> <p>[調査場所] 淡路市、洲本市、南あわじ市(ため池～河口)</p> <p>[調査地点数] 各4地点程度</p> <p>[モニタリング方法] 水質調査</p>
取組による効果・影響及びその判断基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ため池の水の栄養塩濃度は海域よりも高濃度であり、海域へ栄養塩は供給されているが、その放流量では、漁場への栄養塩供給としての効果は限定的と考えられる。</li> <li>・漁業者が参画することで、ため池の維持管理に係る人手不足を補っており、また農業者と漁業者の交流が生まれるなど地域づくりの面での効果がある。</li> <li>・この取組に近年では大学等が参加していることや新聞等での報道を通して、漁業や海域環境の現状を一般県民に伝えるなど、社会的効果が期待できる。</li> </ul>

モニタリング結果の活用方法	過去のモニタリング結果をかいぼりの効果に関する啓発活動に活用
関係機関等における連携・情報共有の方法	漁業者が連携したかいぼり実績等について県関係部局で情報共有を行っている。
現状での課題	
今後の予定等	ノリ養殖時期に合わせた放流時期の調整をするなどして、漁業者と農業者が連携した取組を継続する。
取組事例についての発表資料等	・淡路東浦ため池・里海交流保全協議会が平成 30 年に農林水産大臣賞(第 2 回インフラメンテナンス大賞)を受賞 ・平成 27 年に「種まく旅人 くとうみの郷」で映画化・全国ロードショー
情報提供元	兵庫県 農政環境部 農林水産局 水産課